



片づけを考える

○時間も空間も「区切る」で快適に

瑞穂の国の日本は 10 月に入るとすぐに田の水を落として稲穂の刈入れの準備に入ります。田植えから刈入れまでの長い時間がゆるやかに流れてきた事を感じる時でもあります。

時間をどの様に使い、また、その使い方に価値を持たすか、は、とても難しいことだと思いますが、片づけの話に置き換えると大きな空間を与えられてそこをいかに有効に活用するか、という事に似ていると思います。

空間を上手く使うコツは区切る（仕切る）事です。

納戸や物置といった大きな空間では、棚などを作ることで、また、小さな空間の引き出しなどは、入れ子の様なモノ（収納ケース）を入れる事で区切りができます。

区切ることの利点は、多少の乱れや散らかりが、それぞれ、その枠のなかで収まることです。区切りのない空間は、それが広ければ広い分、乱れや散らかりも大きくなります。

モノを上手く管理して収めるコツは大きく乱さないことです。小さな乱れは、少しの労力で直すことができますが、大きな乱れを直すことは時間も労力もかかるので、後回しになりやすいのです。



区切るという事は同時に分類する事も可能にします。区切れない大きな空間の中では、分類の基準が曖昧になりやすく分類する事自体を意識できなくなります。

この「どこに入れたかわからない」状態が「モノが定位置がない」になり、散らかりの元にもなります。区切るという事はモノを分類する上でも意味のある工夫なのです。

そしてまた時間も区切る事で上手く家の片づけに使う事ができます。一日 24 時間を時間軸に沿って大きく幾つかの枠で区切りその枠の中で片づけのやりたい事を割り振っておきます。

何時までに「これをやる」と枠があることにより、例えば「午前中に食器棚の二段目を整理する」なら、何とかやりたいと思い、少しでも手をつけることができます。

時間の区切りは、「今日やらなければならないこと」が優先で、その中で、片づけは「今日どうしてもやらなくてもいいこと」になりがちです。ですが、優先順位の高い「やらなければならないこと」の中に小さなことでいいので、「片づけ」が時間の枠の中に入ってくると少しずつでも片づけが進んでいきます。

「ちまちまっと片づけている」も家が片づいていくコツです。



出張セミナーのご案内

- 一般向け 「ポイントを知って始める基本の整理収納」「シニア世代の家の片づけ方」「捨てられない人の整理術」
- PTA 研修 「片づけ上手な子にする為にお母さんが知る整理収納」
- 企業研修 「5S から考える職場の整理収納」他

整理収納全般のテーマでお受けします。内容、ご予算等お気軽にご相談ください。

○資格取得講座＜整理収納アドバイザー2 級認定講座＞ご希望日をお知らせください



朱夏らいふ

森 由香 (もり ゆか)

- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー認定講座講師
- 企業内整理収納マネージャー
- 整理収納教育士
- ファイリングデザイナー(1 級)
- 整理収納アドバイザー
- ルームスタイリスト(1 級)

〈朱夏らいふ〉

中国の五行説では、青い春（青春）の次に来る季節は朱い夏（朱夏）です [朱夏らいふ] のネーミングには、人生の朱い夏を頑張る皆さんと暮らし、そして、自分を応援する意味が込められています

発行日：2017 年 10 月 1 日（日）No.29

編集&発行：朱夏らいふ 森 由香

HP : <https://shuka-life.com>

E-mail : info@shuka-life.com



トピックス



～「終活」を目的にしない片づけ～

秋には、祝日の「敬老の日」がありますが、今年も春日部市のお祝いの催し会場では参加記念として「粗品」が招待状と引き換えられていました。

かつては、モノが増えるという事は幸せな事と思われてきましたが、今の時代、望んでいないモノが家の中に入って来る事に関して人々の感覚が違ってきている様に思います。

昨今、「終活」ということばを目にする事が多くなりました。「終活」というタイトルでセミナーの依頼をいただく事もあります。終活とは「人生の終わりに向けて活動する」という意味なのですが、私はこのことばが好きではありません。

ある程度先を見越して身のまわりを整理しておくのは勿論大切な事ですが、「終わり」の準備の為に片づけなんて何だか寂しくてイヤですね。

セミナーではどんなに小さくてもこれからの暮らしを楽しむ為の片づけを始めて欲しいと話しています。

先々を意識して、「こんなモノを残しておいたら家族に迷惑をかけるだろうな」と考えモノの処分を後押しする事は必要な事です。でも、好きなモノや大切にしてきたモノまで手離す事はおすすめていません。

ですが、どうでもいいようなモノは処分できる様になって欲しいと伝えています。モノを家から出す事で、これから楽しむ為の空間が準備でき、必要なモノが手に入ります。

モノが減っても心が豊かになるということですね。目的を「終わり」に向かっただけではなく、楽しみや安全のための暮らしの「始まり」にする片づけにはいかがでしょう。そんな心の豊かな片づけを応援しています。

整理収納用語の解説

～人別グルーピング～

収納の基本に

「グルーピング」(モノをひとまとめにすること)があります。

「人別グルーピング」は、そのモノを使う人別にまとめることです。「グルーピング」のグループ分けのひとつの形です。

人別になることで、本人のモノの管理が行き届き易くなります。

また、人別にグルーピングしたモノを使う人ごとにまとめて置けるスペースを確保できると外出の準備などは、一箇所済ませることができ、動線が少なく時間短縮になります



インテリアのワンポイント②

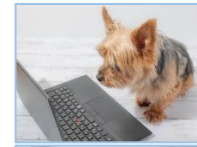
自分のインテリアスタイルが明確な形で決められない時には、ネットの「インテリア検索」で出てくるインテリアの実例やコーディネートなどを紹介する画像を参考にしてみてください。

コーディネートされた画像がアップされています。

その中から、自分の好きな感じのスタイルを選んでおくと、家具やカーテン、照明など選ぶ時のヒントになります。

また、画像で見る事で部屋全体の色の使い方や心地よい配色の割合の基準もわかります。

難しく考えずに「好きな感じ」を何となく真似していくこともセンスアップにつながります。



講座のご案内

～ミサワホーム創立記念セミナー～

10月7日(土) 13:00～14:00 会場

10月8日(日) 13:00～14:00 LIXIL ショールーム埼玉

～白岡市立白岡東小学校 PTA 研修セミナー～

10月26日(木) 10:00～11:30

～コープカルチャー 整理収納セミナー～

11月24日(金) 10:00～12:00 (プラザ富士見)

11月28日(火) 10:00～12:00 (プラザ川越)

～クリエイトアカデミー 整理収納セミナー～

10月11日(水) 14:30～16:00

11月8日(水) 14:30～16:00

お知らせ



←みらい塾
学び舎セミナー第1弾企画
コープみらい大宮中部ブロック
委員会の皆さん、お世話になりました。

お掃除セミナー(片づけ編)→
ピカハウス様主催お客様向けセミナー
「楽しいお掃除教室」掃除編も大変、
勉強になりました



←市民塾
教育センター
「紙と写真の整理」についての皆さんの
活発な意見交換ありがとうございました。



整理収納セミナー→
「シフォンママ工房」様
開店7周年記念企画
おめでとうございます

モノ語り

◆20年購入を迷っていたモノ



キッチン用品は出来るだけ
増やさない様にしている。

でも、便利なそうなモノは
試してみたいので、モノを
増やす時もある。

今回も3つ買ってみた。中でも計量味噌マドラー(写真左)が気に入っている。味噌の中に入れてくると回すと、大さじ1、もしくは大さじ2の味噌が取れるというモノである。

日頃から、目分量で味噌を使っているいい加減さも気になっていたの、店でふと目について買ったのだ。

実は、20年もの間、このマドラーを見る度に「要るか、要らないか」と考えては答えの出ないまま、また、考えた事さえ忘れて時間が過ぎて来た。

やっと今、使い易さを知った。遅すぎて呆れる話である。(お米研ぎにも使えて便利)



収納グッズ



～物干しラック～



本来は物干しですが、簡単に移動ができるので、作業台として使えます。

引き出しを整理する時なども座ったりかがんだりしないでモノの整理ができます。折りたたんで収納できます。

JÄLL 物干しラック
(イケア)

本の紹介

フセンと手帳で
今度こそ、家が片づく

朝日新聞出版

付箋と手帳で「見える化」「細分化」「一元化」をすれば、片づけはスムーズに進む。あな吉手帳術ディレクター講師の新たな分野からの片づけ方の提案です。

著者：須藤ゆみ 定価：1200円(税別)

ブログでも本の紹介をしています
朱夏とLIFEのお片づけ日記
→ <https://ameblo.jp/shukalife>



～整理収納相談 Q&A～



- Q 古くなったタオルなどを再利用しようと取ってありますが、それがたまってきてしまいます。
- A モノは本来の使い方をした後、違う形でもう一度使えると心置きなく処分に踏み切れますが、再利用にも、切るなどの一手間がかかると、それができずに中途半端な状態のまま溜まりスペースを占領してしまいます。タオルの役目が終わった時点で、使いやすい大きさに切ってしまふなど、再利用の流れを作るか、それができない場合は、モノは本来の形で使い終わった時点でその役割は終わっている、と考え、迷わず処分するなどのマイルールを作ることも必要です。